

第1回 歴史&ハイキング愛好会 例会実施報告

当番幹事 岩崎正憲

今年度から、二つのサークルが一体化されて、「歴史&ハイキング愛好会」としてスタート致しました。その記念すべき第1回例会が、五月晴れの5月24日(土)に、「国立競技場周辺の散策」の旗印のもと、神宮外苑一帯で開催されました。当日は、午前10時30分に、JR千駄ヶ谷駅前に参加者17名が集合、昼食弁当の調達を確認の上、早速、行動を開始しました。

散策コースは、下記の行程で示す通り、外苑に点在する数スポットではありますが、それでも、それらの場所の由来などから、近世の歴史の変遷を思い起こさせて呉れる貴重な刺激を、メンバー全員が貰えた様に思います。

明治神宮外苑そのものは大正15年の創建ですが、その周辺には、江戸、明治、大正、昭和のそれぞれの時代を象徴する事物が鑲められている事を、再認識させられた散策となりました。

中でも、皆さんが、総じて、印象付けられたポイントは、次の5か所だったのではないのでしょうか。

- 1) 江戸時代の、庶民の生活文化の一端を覗かせて呉れた、富士信仰の「千駄ヶ谷の富士塚」
- 2) 大正時代の、ロマンを残す146本の「銀杏並木」の美事な樹形
- 3) 昭和大戦の実情を静かに伝える「出陣学徒壮行の地・慰霊碑」
- 4) 戦後復興の推進にも、大役を果たした「国立競技場」の偉容とのお別れ
- 5) 若者の未来を支える革新技术の動向を指し示す「先端技術館」

※ 当日の散策行程

千駄ヶ谷駅⇒千駄ヶ谷の富士塚・鳩森八幡神社⇒国立競技場・千駄ヶ谷門～出陣学徒壮行の地・慰霊碑
⇒青山門～御鷹の松⇒聖徳記念絵画館前⇒銀杏並木⇒(昼食・休憩)⇒先端技術館@TEPIA⇒梅窓院⇒
三河稲荷⇒銀座線・外苑前駅 <距離 約5.5キロ>

恒例の集合写真は、牧田会員の構図作りで、間もなく解体が始まる国立競技場の正面スタンド側を背景に、外苑西通りで撮影出来ました。

昼食の弁当休憩は、往復600メートルの銀杏並木を散歩の後、新緑の公孫樹の木陰のベンチに分散して、涼しく舌鼓を打ちました。行程の最後は、江戸の名残がひっそりと受け継がれている「三河稲荷」での参拝で締め、無事に、全員揃って、予定コースを完走する事が出来ました。

散会の前に、次回当番の岩田幹事さんから、大いに楽しめそうな7月の新企画についての予告が有り、ニコニコと再会を約して、お開きと致しました。会員各位のご協力、有難うございました。

尚、国立競技場では、お別れイベントの準備でお忙しい中、慰霊碑見学を希望する我々の為に、事業課の責任者の方が、千駄ヶ谷門を開けて下さった御好意が、本日の例会の中での思い出に加わりました。

又、当日のスナップ写真多数が、千葉支部のホームページに収められています。どうぞお楽しみ下さい。

(参加者・敬称略)

岩田芳秀、遠藤哲也、川上昇、川島省三、川股賢三、木頃勝紀、白岩仙一、住田勝治、南雲玉夫
西長義方、野田佑、橋本裕一郎、平木行雄、牧田賢二、山田昌之、柳谷正、岩崎正憲 (17名)

*JR 千駄ヶ谷駅前で岩崎世話人より散策コースの案内



・富士山信仰の「千駄ヶ谷の富士塚」



*間もなく解体が始まる「国立競技場」



第1回 歴史&ハイキング愛好会 例会

国立競技場(間もなく建替え予定)を記念の背景に 平成26年5月24日(土)

・出陣学徒走行の地「慰霊碑」



・大正時代のロマンを残す146本の「銀杏並木」



・「梅窓院」

